

『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック下における集中治療室での医療従事者の直面する倫理的・法的・社会的課題（Ethical, Legal and Social Implications: ELSI）の検討』への参加のお願い

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に流行し、日本においても非常事態宣言を始め、社会状況に大きな影響を与えています。医療体制にも変化を生じており、特に重症患者を扱う集中治療室（ICU）ではその影響が大きいと思います。

隔離や面会制限などの感染対策を行いながらの診療・ケアは、患者・家族との良好なコミュニケーションをとることが難しく、治療方針などの重大な意思決定が必要となった際に通常と異なった困難が生じている可能性があります。また人的資源や人工呼吸器、ICU 病床など医療資源が枯渇し、分配に配慮しながら医療・ケアを提供する必要があるケースも生じていると考えられます。

一方、近年、医療従事者が実施すべきだと考える治療やケアが制度や組織の制約、患者のおかれている状況によって行えないことから生じる倫理的苦悩や葛藤、心理的な不安定さを moral distress と表現されることがあります。COVID-19 パンデミック下では、通常時と異なる基準のもとで行動することが求められるため、急性期医療制限や患者・家族らへの不十分なケアなどを原因に、moral distress を感じる場合もあると考えられます。

COVID-19 のパンデミックによる変化で、ICU で働く医療従事者には上記で述べたような通常と異なる倫理的・法的・社会的課題（ELSI）が生じている可能性があります。そこで本研究では、医療現場の課題を把握し、その解決策を模索することで、COVID-19 の再流行時や新たな感染症のパンデミックの際にも医療従事者の burn out を防止し、患者・家族が望む医療ケアの提供に役立てることを目的としています。

なおアンケートは看護師、理学療法士、臨床工学技士など医師以外の職種でも入力できるように構成されていますので、ふるって御参加いただけましたら幸いです。

**【目的】** ICU における COVID-19 パンデミック下での医療従事者の直面している倫理的・法的・社会的課題の現状把握と解決策を探ること

**【研究デザイン】** 無記名アンケート調査

**【対象】** 日本集中治療医学会 会員

**【研究方法】** 本アンケート調査は 2020 年 7 月 6 日～19 日に下記 URL の Web 上のアンケートフォームに回答する形で行われ、調査項目は全部で 34 項目（選択、自由記載）、所要時間は 10～20 分程度です。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScYb5F51oezKtp8ABJg79vNClz1gYnLigWITJW3EPnsHpzZdw/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScYb5F51oezKtp8ABJg79vNClz1gYnLigWITJW3EPnsHpzZdw/viewform?usp=sf_link)

- 本研究は、大阪大学の倫理審査委員会の承認を受けています。  
(倫理審査番号 20095)
- 本調査は施設や患者個人を特定できないように匿名化されており、個人情報 は取得しません。
- 本研究から得られた内容は、学術的な発表・論文化を行う予定ですが、他の研究に用いることはいたしません。
- アンケートの回答に参加していただける方は、回答フォーム上の同意欄に✓をお願い します。アンケートの性質上、匿名化されているため、同意の撤回を行うことが できませんのでご了承ください。
- 研究に関してご質問などありましたら、【研究相談窓口】までご連絡ください。

**【研究相談窓口】**

大阪大学大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学

大阪府吹田市山田丘 2-2 TEL 06 - 6879 - 5111

研究担当者 制野勇介 seino@eth.med.osaka-u.ac.jp